

発行所
新潟県看護連盟
 新潟市中央区川岸町2-11
 新潟県看護研修センター内
 TEL 025-266-2360
 FAX 025-266-2322
 E-mail:yuki@niigata-kangorenmei.jp
 編集責任者 二階堂 一枝
 印刷所 侑フジプリント
 TEL 025(244)0638
 FAX 025(245)6587

躍動する新潟県看護連盟

ゆきつばき

第42号

超高齢少子社会は、
 看護が豊かに行われる社会



次期参議院議員選挙候補予定者が内定
石田まさひろの政策主張



新潟県看護連盟会長
二階堂 一枝

熱伝導により結果を出そう

大雪の被害心よりお見舞申し上げます。さて1年半後に行われる次期参議院議員選挙(全国比例)に看護連盟の組織代表として石田まさひろ氏が内定いたしました。

石田さんは44歳、日本看護連盟幹事長として活躍され、本県にも講師として毎年来県され、ご指導をいただきました。わかりやすくユーモアあふれる講義で看護の魅力、連盟の魅力を伝えてくださいました。

現在、看護の解決すべき課題は、労働条件・労働環境の改善、看護師特定能力認証制度の法制化、在宅医療・看護の問題など、急いで取り組まなければならないことが多く猶予は許されない。あべ俊子議員、たかがい恵美子議員に続く代表を何としても国会に

送らなければなりません。

石田さんのアピールポイントは、政策通、未来を作る熱い情熱、実行力、多彩な分野への広がりです。「石田まさひろ政策研究会」の入会活動が始まります。

各支部の目標数は各施設、個人会員に周知されていますか。目標達成に向けて施設連絡員、病棟連絡員を中心に、会員1人1人が熱く行動し、雪をも融かす情熱と熱伝導により、結果につなげていきましょう。



目次	●国会議員だより・挨拶…………… 1~2	●国会見学…………… 8
	●「石田まさひろ政策研究会」が スタートしました…………… 3	●現場の声…………… 9
	●看護連盟の研修会が好評です…………… 4~7	●お知らせ…………… 10
		●看護連盟入会のお祝い…………… 10

春を待つオオミスミソウ(新潟県の草花・雪割草)
 国営越後丘陵公園

国会議員だより



衆議院議員
あべ 俊子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。新潟県看護連盟の皆様にはいつも温かいご支援を賜り、さらに昨秋のあべ俊子後援会の拡大活動にもご協力をいただき、本当にありがとうございました。

昨年は未曾有の大震災という試練の中、大変な国難の一年となりました。新しい年を迎えるにあたり、この一年、この国が復興への道のりを一歩ずつ着実に歩めるよう、国政の場で精一杯努めてまいる決意をあらたにしています。

また昨年は国会では様々な委員会でも多くの質問機会を頂け、会期中は地元岡山との往来も含めて毎週多忙を極めました。この国政活動が国民の皆さんの幸せや看護職の皆さんの現場が良い方に変ったという実感につながっていくと信じ、日々の取り組みを重ねてまいりました。そして今年も変わらず頑張っている所存です。

どうか本年も皆様のお声をお聞かせ頂き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



参議院議員
たかがい 恵美子

昨年は、東日本大震災をはじめ、豪雨による被害など甚大な災害に見舞われた年となりました。これらの災害は、多くの悲しみや苦難をもたらしましたが、一方で社会とのつながりの重要性やその価値観、命の大切さを再認識する機会ともなりました。かねてより、看護職は命を守り、社会のつながりの中で人々に寄り添って参りましたが、今このような時代だからこそ、頼れる専門職として、看護職に対する信頼や期待が高まっていることと思います。

私は、国会の代表質問や委員会審議を通じて、今まさにわが国が「命の危機状態」にあること、そして政府として「命の危機宣言」をすべきであると進言してまいりました。震災による恐怖、不安、動揺は心に与える影響も大きいと考えるからです。失われずにすむ命をしっかりと守るために適確な施策を迅速に講じる必要があります。身近な場所からその人が必要としている手を差し伸べることができるように、見守り、サポートする体制が必要です。このような場面において、看護職であればこそ大いに活躍できることでしょう。

今年は、診療報酬・介護報酬の見直し、社会保障と税の一体改革など社会保障制度に関して大きな動きがある年です。社会保障の担い手として、看護職の皆様が活き活きと活躍していくことができるよう、将来をしっかりと見据えて活動をしてまいります。これからも引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新潟県看護連盟会員の皆様へ



日本看護連盟会長
清水 嘉与子

明けましておめでとうございます。

昨年の東日本大震災は被災地のみならず、日本中に衝撃を与えました。命がけて患者さんを護った被災地の看護師たち、そして全国に広がった支援の輪、素晴しかったですね。

こんな中で誕生した政権交代後3人目の野田総理は、震災からの復興、沖縄基地、TPP問題など課題山積です。その上臨時国会では2大臣の問責決議が参議院で可決されて閉会になるなど、国政は全く不安定な状況、総理にはこの国難にしっかりとリーダーシップを発揮してほしいと願います。

政治情勢が不安定な中でも高齢化はどんどん進んでいます。これからの保険医療政策の中で看護職の能力を医療機関の中だけでなく在宅においてもしっかりと活用してほしい、そのためにも日本看護連盟は次期参議院選挙に看護の代表を送る活動を進めて参ります。

皆様のご支援を心からお願い申し上げます。



新潟県看護協会会長
佐藤 たづ子

ご挨拶

新潟県看護連盟会員の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新潟県看護協会は、今年1月19日の新潟県公益認定審査会の審査を無事に終え、平成24年4月1日をもって、公益社団法人として認可されることとなりました。

今後はより一層公益性が求められ、広く県民の為、看護職のための事業展開を行うこととなります。県民の福祉の実現に向け貢献する職能団体として、看護の質向上、働き続けられる環境づくり、看護領域の開発展開に向け、より力を入れて活動していかなければと考えております。

引き続き皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

さて、来年が参議院選挙の年となります。先月開催されました都道府県看護連盟会長会の席で、その立候補予定者が石田昌宏日本看護連盟幹事長に内定とのニュースをお聞きいたしました。看護界初の男性議員の誕生は頼もしい限りです。

看護界が抱えます多くの問題の解決に向けさらなる前進となる事と期待いたしております。

次期参議院議員選挙候補予定者が内定

「石田まさひろ政策研究会」が スタートしました。

石田まさひろの政策主張

超高齢少子社会は、看護が豊かに行われる社会

さまざまな日本の課題の根っこは人口構成の変化です。世界で最初に超高齢少子社会を迎える日本を、今、世界中が未来の自国のモデルとして、見守っています。

私は日本を世界の超高齢少子社会の模範にしたい。誰もが安心して日本に生まれてよかったと、実感できる社会を築きたい。

超高齢少子社会に、人が幸せに暮らすために、看護の力が今まで以上に求められています。

新しい命を生み育てるためには、助産師らの力が慈愛の輝きになります。

地域で健康に過ごすためには、保健師らの力が生きる喜びになります。

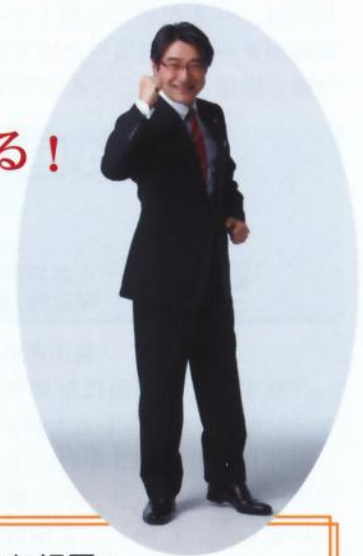
闘病生活を無事に乗り越えるには、看護師らの力が希望の光になります。

医療がすべての効力を失った後も、看護の力で最期の日々を見守ります。

守るべきものは守る。変えるべきものは変える！

それが看護の **イシ** だ！

(石田・意志だ)



看護の充実のための政策

看護は、人のいのちと暮らしを守り、未来に希望を与えるもの

1. ケアする人たちを支えます

職場環境が過酷になっています。進む高齢化、短くなる在院日数、高度化する医療、複雑化する手続き等さまざまな要因が重なり、看護を実践する人の力は限界に近づいています。人を支える人も、人らしくあるべきです。

2. 時代や社会にあった看護を提供します

一方、看護の受け手のニーズが変化し、社会保障制度の改革、医療技術の高度化等によって、看護のあり方を見直していかなければなりません。時代や社会の要請にあった、看護を提供できるようなくみづくりが早急に必要です。

石田まさひろの主な経歴：

1967（昭和 42）年、奈良県大和郡山市生まれ
少年時代は親の転勤で、三重県、石川県、東京都、長野県
高校は兵庫県の甲陽学院高等学校
大学は東京大学医学部保健学科
保健師・看護師資格取得
看護師として聖路加国際病院、東京武蔵野病院で勤務
衆議院議員公設秘書を経験
日本看護協会では政策企画室長等
日本看護連盟では幹事長等

近日中に支部長を通して政策研究会入会手続きなど皆様にお知らせやお願いをいたします。よろしくお願ひします。

支部別会議で決定した
新潟県の目標 6,500 票を目指して
力を合わせて go！！

看護連盟の研修会が好評です。

医療安全研修会

「ことばによっては遠ざかる関係・近づける私」

— 患者と医療者の対話を目指して —

講師 新葛飾病院 医療安全対策室安全管理者 豊田 郁子

■日時／平成23年8月20日(土)

■会場／新潟市万代市民会館

■参加者／171名



県立六日町病院

佐久間 健太

私は、今回の講演を聴かせてもらい、医療者一人ひとりが医療安全に対して改めて考えていかなければならないと感じた。講師が体験した事例は、看護師、医師間でのコミュニケーション不足から起こった事故であることが考えられる。そのため、普段から、職種間で、コミュニケーションを図っていくことが重要となってくるということを実感した。医療事故対策は、一人だけでは難しいので、医療従事者の各職種がチームで対策をたてていくことが大切であり、今後の課題となってくるのではないかと感じた。

佐渡市立両津病院 中村 敏子

これまでも何度か医療安全に関する研修会に参加して来ましたが、医療事故に関わった方のお話を聞くのは、初めてでした。豊田さんの話にどんどん吸い込まれていき言葉では簡単にあらわす事の出来ない感情が、湧いてきて涙が出ました。当事者である家族、そして関わった医療従事者の方の苦しみ伝わり胸が苦しくなったと言うのが正直な感想です。

治療や看護は、患者・家族との信頼関係の上に成り立っています。言葉は、信頼関係を築く為の大切なツールです。その事を忘れないでまた明日から頑張りたいと思います。

本当に、素晴らしい講演をありがとうございました。

第4回ポリナビワークショップ in 新潟

「看護連盟の役割を知っていますか」

「心を受け止め合うコミュニケーション」

講師 ウェルネスディレクター
保健師・産業カウンセラー 百津 礼子

■日時／平成23年9月17日(土)

■会場／NSG学生総合プラザSTEP

■参加者／68名

猫山宮尾病院 五十嵐 和紀

今回ポリナビ新潟に参加する事で改めてコミュニケーションのポイントと大切さを学べた様に思います。

現在私は看護師2年目。1年目の頃は患者さんとのコミュニケーションを1番にと意識し図る様にしていました。しかし、2年目になった最近では、仕事にも慣れてきたことも影響するのか患者さんとのコミュニケーションについて深く考えなくなってきた事を百都先生の講義を聞き知ることができました。

百都先生の講義内容を振り返り、患者さんが訴えていることに耳を傾け、患者さんの心を受け止め理解できるコミュニケーションを今後の看護で行っていきたいと思いました。

また、今回は看護連盟についてわかりやすく説明していただき、看護連盟は看護政策実現のために、国会に代表をおくり、その代表が看護で起きている問題の解決を国会で進展させるための支援をしているという事を知り、私達看護師がよりよい環境で仕事をしていく上で看護連盟は大切な役割をしているのだと知る事ができました。



厚生連佐渡総合病院 磯部 亜美

今回のテーマはコミュニケーションでした。患者さん始め、患者家族、スタッフ間でもコミュニケーションというものは大切で一番難しい、そして日々のケアにも深く影響する技術のひとつだと感じました。視線や表情、姿勢で相手の話しやすい環境を作り、心を開ける場を作ること。そして何かを聴こう、良い言葉を返してあげようと思うのではなく、相手の気持ちに添って話を聴こうという思いが大切で、相槌やうなずきだけでも必要な受容の形なのだと感じました。また、自分を知ること、振り返りをする場面がありました。自分にどんな特徴があるのか、マイナスに成りえる面があるから、こんなことを注意していかなければならないなど、改めて感じると

ころもあれば、新たな自分を知る機会にもなりました。今回学んだことを念頭に置き、相手の話しやすい環境づくりを工夫し、限られた時間を大切にして、話しやすい看護師を目指していきたいと強く感じました。

看護記録研修

— 再度看護記録の基本をマスターしよう —

講師 聖路加看護大学 名誉教授 岩井 郁子

- 日時 / 平成23年10月15日(土)
- 会場 / 新潟青陵大学
- 参加者 / 302名

新潟大学医歯学総合病院 佐藤 祐美子
 職場では記録係の 担当をしており、「再度看護記録の基本をマスターしよう」というテーマにひかれての受講でした。

日常業務の中で毎日のように看護記録を書いています。適切な看護記録を書くためには、看護記録とは何かに関する概念を知ることが基本ということで、今回あらためてその内容を確認することができました。

記録のために超過勤務をしていることもあり、今回の学びを職場にも還元し、いかに看護記録を適切

にまた簡潔に書くかを意識し実践できるよう取り組んでいきたいと思いました。



新潟県リーダーセミナー

講師 日本看護連盟 幹事 藤澤 淑子

- 日時 / 平成23年11月12日(土)
- 会場 / NSG学生プラザSTEP
- 参加者 / 病棟連絡員、施設連絡員、支部・県役員 70名

信楽園病院 水戸 紀美子

今回、病棟連絡員として参加いたしました。

看護連盟について誕生から役割、さらに労働環境や制度を整えるためには看護協会と看護連盟が協力して手を結び、ともに歩んでいかなければならないこと等を再認識しました。有意義かつ、この活動に携わるすべての方々の「熱い思い」すなわち連盟活動におけるリーダーシップの基本「熱伝導」を体感した思いでした。現在、看護の現場にいる私としては患者層の超高齢化を迎えた対応の問題や、看護現

場には多くの問題が山積しているように感じ、この問題を解決するなら、看護現場を良くしたいなら、制度に目を向けて変えていかなければならないのだと思えるようになりました。そのためには同じ思いを持つ仲間を増やし、先輩方の心意気を受け継ぎ、さらに自立した看護職へと進化しなければ！

これからもそんな熱い思いを冷めさせず、現場で働く私たちが専門職としての誇りを持って積極的に取り組む姿勢、働きかけ続けることが大切なのだと強く感じました。



since 1979

家庭用ラジウム温浴器
GTR



簡単！お風呂に入れるだけ！



古い羽毛ふとん お仕立て直し受付中!!

プラチナ電子ローラー
(リファ)



フェイスもボディも、これ1本で

Grand Feather. グランドフェザー新潟株式会社

〒940-0044 長岡市住吉1-5-17

TEL 0258-33-3208 FAX 33-3210 Email gf-niigata@ac.auone-net.jp

認知症研修会

「アルツハイマー病を中心として認知症とせん妄の症候学的理解を深める」

講師 新潟医療福祉大学 教授 今村 徹

■日時／平成23年12月3日(土)
■会場／NICOプラザ
■参加者／161名

新潟南病院 大田 みゆき

今村先生の講義から「認知症」で診断を終わりにしてはいけないということを学んだ。看護師にとって大切なのは、患者の不穏行動や意識障害、記憶障害などの症状を十分に観察し、情報収集した内容を基にアセスメントすることである。ここで重要なのは、認知症などを診断するためのテストの点数ではなく、患者がどのようにそれに返答したか、いつの記憶が無いのか、どんな行動が出来ないのかといった具体的な症状である。それらの症状の原因を突き止め、病態を把握した上で、個々の患者に適した看護を施していかなくてはならない。

また、看護連盟会長からは、これまでの看護連盟の活動についての講義があった。看護師が専門職に誇りを持って活動出来る国造りの大切さを知り、今後は微力ながら連盟の活動に貢献していきたい。

桑名病院 長谷川 美樹

この研修に参加しようと思ったきっかけは、脳外科病棟に勤務しており日々病棟勤務をしている。そんな日々の中、「この言動は疾患の影響による意識障害なのか？せん妄状態か？それとも環境変化による認知症状の進行か？」と疑問を持つことがしばしばあり、それぞれの患者にあった対応、援助をしていきたいと思い受講した。患者の症状を評価、いくつかの特徴的な組み合わせを行い、その症状を理解していかなければいけない。観察時、間違えた答えをしたとしても「その間違いは一体何なのか？」を考え、質問の方法も変え、それに対しどう返答するのか前回とはどう変化がある言動なのかを評価し判断する必要がある事を学んだ。一時的な症状なのか、今後も継続悪化していく症状なのかを判断する事で患者、家族との関わりや退院後の生活も視野に入れた援助ができるよう心がけ看護していきたいと思う。



桜花づくし



安眠をつつみてやさしき
春夢叶い 東洋羽毛
桜ふぶき舞う

東洋羽毛北信越販売株式会社 新潟営業所
〒950-0943 新潟市中央区女池神明3-13-2

0120-300060

看護管理者・看護教育者セミナー並びに看護講演会

■日時／平成23年12月17日(土)

■会場／新潟青陵大学

シンポジウム

「法改正が現場にもたらしたものの、
そして新たな法律・制度づくりを目指して」

■参加者131名

コーディネーター	新潟青陵大学 教授	本間 昭子
シンポジスト	桑名病院	鈴木 光江
	厚生連長岡中央総合病院	上村 沖津
	新潟労災病院	笠原 弘子
	猫山宮尾病院	若槻 宏子



看護講演会

■参加者178名

「ひとの生きる力を守る」看護のパワーを
「社会の生きる力を創り出す」
政治へと生かす

* もっと輝く看護職の未来へ
* 東日本大震災で看護職が果たした役割

講師 参議院議員 たかがい 恵美子



見附市立病院 中山 豊子

昨日から県内は白一色積雪となりました。寒さを除けば、美しい冬の到来です。

会長の話で、20～30代の会員が県内では、36.5%（全国58%）と若い人の入会が低い現状である事を知り残念に感じた。

講演会では、参議院議員の高階恵美子氏の活動を聴きました。看護職の経験を生かして命を守る政治活動をしている姿が強く印象に残りました。

今回の東日本大震災においては、津波で一瞬に多くの人々が飲み込まれ、約2万人の人々が亡くなりました。人々の心の奥深くがえぐられるような傷ついた気持ちです。その時、政治家として水・医薬品の準備、感染予防そして棺等の対応など打てる手段・情報を判断し調整した活動の様子を聴きました。やはり看護職を政治の場に送り出さなければと思います。看護職にとっても政治家を出すことなしに、WLB“生活と仕事”のバランスや職場環境は変化しないと強く感じました。

白根健生病院 和田 順子

看護連盟主催の数々の研修会を初め、今回のセミナーに参加させていただき有難うございました。

会長の講義は、とても理解しやすいお話でした。私達看護職の制度の変革の推進を行っていくには、看護連盟として看護職の代表を国会に送り出していかなければならないことを痛感いたしました。

シンポジウムでは、前半の2施設から、新人看護研修についての報告がありました。入職した新人の離職を防ぐというよりも、新人から、どうしたら自施設を選んでもらえるか、選ばれる施設になるには何が必要であるかが課題だと思いました。

後半の2施設からは、外来看護についての報告がありました。看護のやりがいを見出されている内容に、改めて看護の専門性について考えさせられました。

高階恵美子議員に直接お会いするのは、3回目でしたが、いつお会いしても勇気と元気をいただき、国会でご活躍の様子を感じることができ大変心強く思いました。

国会見学

■平成23年10月20日(木)
■参加者 37名

厚生連魚沼病院 桑原佐枝子

この度、国会・議員会館・日本看護協会ビルの見学に始めて参加させて頂きました。35名の参加者と役員2名の参加でした。国会までのバスの中では、政治に関連する3択クイズで勉強し、豪華商品を頂きました。国会に到着すると、すぐにたかがい恵美子参議院議員の出迎いで写真撮影と国会見学を行い、国会の中のコンビニで「どじょうかりんとう」「限定クッキー」を購入し、たかがい参議院議員とあべ俊子衆議院議員の活動報告の講演がありました。私たちの代表が、看護の政策実現に向けて意欲的に活動している姿を目の当たりにして、今後も、是非「看護の代表を国会に」という思いを新たにしました。

小千谷総合病院 佐藤 京子

晴天にも恵まれ、行ってきました国会へ。

修学旅行以来ですから、もう何十年も昔のことです。重厚な国会議事堂を前にして、一国民の自覚が目覚めました。「やりがい、いきがい。たかがい！」のたかがい恵美子議員のお出迎いで記念撮影しました。本当に気さくな議員で、私たちの代表(女性代表としても)であり、私たちが選んだ国会議員と感じました。あべ俊子代議士・たかがい恵美子議員の国政活動報告の内容は、まさにフレッシュでアグレッシブでした。また、清水嘉与子連盟会長より、静かに、力強く連盟の今までの軌跡と、更に看護連盟から代表者を国会に送り出したい意欲を聞かされ、私たちが頑張らなければならないと感じました。看護職が、一丸になって行動を起こせば、国政も変えられると感じた一日でした。

厚生連新潟医療センター 長谷川恵美子

平成23年10月20日、臨時国会開会日に、私たち新潟県看護連盟37名は国会議事堂を訪れました。

「皆さんようこそ国会へ」多忙な時間を割いて、こぼれるような笑顔でたかがい恵美子参議院議員は私たちを迎え入れてくださいました。

国会議事堂内の廊下は階段も含めて約4キロにも

わたって赤い絨毯が敷かれているとの事。本会議が開かれる衆議院議場は、国政全般が協議され直接私達の生活を左右する予算や政策が決定される場と思うと身が引き締まるようでした。

参議院議員会館であべ俊子衆議院議員、たかがい恵美子参議院議員、地元選出議員の講演を聴くことができました。

「これは皆さんと共に勝ち取ったバッジですからね。」とたかがい恵美子議員は大切な参議院議員バッジを同席した千葉県看護連盟と私達全員に回してくださいました。手にしたバッジは紫色綸子の丸い土台に11枚の金色の花びらが開いており高貴さが漂っていました。

《看護職の皆様「現場の声」を国政に反映させるべく共に頑張ってみましょう》

《政治の力で看護職の労働環境をよりよいものに変えていきましょう》

そのためには仲間を増やすこと、ともに声をあげること。あらためて看護連盟の必要性を感じさせられる貴重な機会となりました。

また、表参道にあるJNAビル内の日本看護連盟本部を見学。そこでおいしい大福を頂きながら清水嘉与子会長の講演を聴きました。看護連盟の歴史や目的をあらためて学ぶことができた気がします。

大型貸切バスでゆったりしており、すてきなプレゼントが当たったクイズは楽しくあっ、という間に時間が流れてしまっていました。

お世話になった皆様、本当にありがとうございました。

来年はあなたもぜひ「国会見学ツアー」に参加してみませんか？





現場の声 (平成23年7月～12月分)

<件数の多いもの>

- 第1位 看護要員の不足
- 第2位 給与や各種手当の支給額の低さ
- 第3位 加重労働・超過勤務・サービス残業
- 第4位 人間関係のストレス

<自由意見からの抜粋>

- ◆ 忙しくて毎日のように時間外だが、時間外手当が取りにくい状況にある。働いた分だけ時間外が請求出来るとよい。
- ◆ 看護連盟のオリエンテーションはされていない。連盟の行っている研修があることを初めて知った。今回の研修で、支払っていた会費が自分に返ってきたと思った瞬間だった。
- ◆ 時間外の仕事が多い。研究はもちろん、委員会活動は家に持ち帰りやっている。研修会出席も夜勤明けの出席である。
- ◆ 働いた内容に給料が見合わず、何だか働いていて辛く、達成感が得られにくい。
- ◆ 看護師不足は、各自施設の自助努力では解決しない。国家対策として国民の医療問題として考えて欲しい。
- ◆ 職場の人間関係によるストレスが多い。特に医師が話を聞いてくれない。
- ◆ 地域の民間病院に新卒が入職しても3～5年育った頃になると条件のよい公立病院に就職する。対策はないものか。
- ◆ 子育て支援対策で、短時間勤務を取り入れているのは良いが、現状は希望する人数が多く看護部がうまく裁けていない。



現場の声をお寄せ下さい

日本看護連盟は

「ベッドサイドから政治を変える！」

をスローガンに運営されています。

「現場の声」に示された労働環境の改善や質の高い看護の提供のためには法律や制度を変えなければなりません。議員を誕生させると共に今後も現場の声を届けて下さい。

お知らせ

平成24年度新潟県看護連盟通常総会のお知らせ

- 日 時 平成24年 6月23日(土)
- 会 場 新潟市民プラザ(新潟市中央区西堀 6番町 NEXT21ビル6階)
- 特別講演 **演題** 「夫の看取りから見えてきた看護の課題」(仮)
講師 聖路加看護大学 名誉教授 岩井 郁子

第5回ポリナビワークショップin新潟

- 日 時 平成24年 7月14日(土)
- 会 場 NICOプラザ(新潟市中央区万代島5-1 万代島ビル11階(予定))
- 講 師 ボディワークスタジオGarage-1主宰
米国協会認定NLPトレーナーアソシエイト 水科 江利子
- テ ー マ 「心と体のセルフメンテナンス」(仮)

平成24年度支部集会・施設訪問(ホップ)の計画 石田まさひろ氏が本県に来ます

4月21日(土)

- 午前 佐渡支部**
時間 9:45~10:45
会場 厚生連佐渡総合病院 講堂
- 午後 新発田・村上支部**
新潟 東・西・南・中央支部合同
時間 13:30~14:30
会場 NSG学生総合プラザSTEP
- 県央・長岡支部合同**
時間 16:30~17:30
会場 長岡赤十字病院 講堂

4月24日(火)

- 午前 魚沼・南魚沼支部合同**
時間 10:00~11:00
会場 検討中
- 午後 柏崎支部**
時間 14:00~15:00
会場 検討中
- 上越支部**
時間 17:15~18:15
会場 検討中

※詳しくは後日お知らせします。会員はもちろん非会員ともども、多くの方々の参加をお待ちしています。

ホームページを ご覧下さい



皆様ぜひ 今すぐアクセスを

新潟県看護連盟

けんさく
検索

必見がいっぱい

そしてご意見も下さい。



平成24年度 連盟会員募集中です。

看護連盟は看護協会の目的を達成するための政治団体として

昭和34年誕生

今日まで組織代表を国政に送り、法律の制定や改正・労働条件・看護教育の改善に大きく貢献しています。

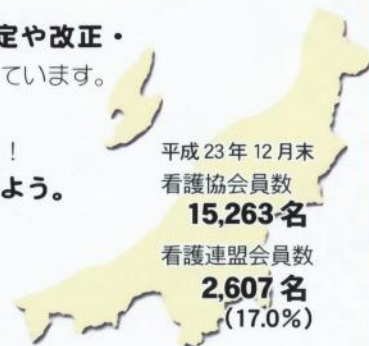
まだまだ山積する現場の問題

あなたの入会があなたの問題を解決します！！

看護の力を結集し、現場の声を国会にとどけよう。

年会費	日本看護連盟	5,000円
	新潟県看護連盟	3,000円
	合計	8,000円

随時受付けています



編集
後記

次期参議院選挙の候補予定者も決まり、今年は選挙一色の年になると思います。看護の代表を国政に送るために会員の増加と、政策研究会への参加をお願いいたします。連盟活動にご協力ください。もっとも厳しい寒さの中ですが、体調管理に気をつけて頑張りましょう！

【広報委員】 中村 政浩(長岡療育園) 横山 晶子(厚生連刈羽郡総合病院) 牧野 知津子(厚生連魚沼病院) 池田 則子(信楽園病院) 丸山 明人(三島病院)